

# ちばけん公民館 スタッフニュース



## 「花のまち」をめざして

鋸南町は千葉県の南、房総半島の西南に位置し、北は富津市、東は鴨川市、南は南房総市と隣接しています。町の北部にある「鋸山」には日本一大きな石仏があり、南房総有数の観光地となっています。

また、昔から「鋸山を過ぎると上着が一枚いらぬ」といわれるような、温暖な気候を活かして「花のあるまちづくり」を目指しています。平安時代の末期、源頼朝が石橋山の合戦に敗れ、この地に逃れ、再起を図ったことから、河津桜を「頼朝桜」と命名し、平成13年から町の至る所で桜を2万本植栽し、その中でも「佐久間ダム」は、南房総一の桜の名所となりつつあります。桜だけではなく、水仙・紫陽花・紅葉など、一年中四季折々の花木が見られるよう、植栽が行われています。

都心から車で一時間、一足早い春を感じられる鋸南町。自然に親しみながらのウォーキングはいかがですか。

# まちより むらより、



## 【主催教室と同好会】

大網白里町中央公民館 ☎0475-72-0698

ケ、ストレッチ体操、華道、コーラスなどがあり毎月2回/年24回定期的に開催しています。

また、学習意欲の向上の為、教室の卒業生等が同好会を運営し公民館活動の活性化につながっています。

その他、毎年10月に産業文化祭「文化の部」を開催し公民館活動を行っている教室、同好会、サークル等、学習発表をおこなっています。

今年は、10月22日(土)23(日)に開催しステージ発表25団体/展示発表15団体の参加がありました。また、ステージ発表の司会者には、落語家の春風亭朝也さんを招き来場者及び参加団体にたいへん好評でした。

今後も主催教室等、公民館利用者の声を聞きながら学習活動の場所として充実を図りたいと思います。

公民館主催講座は、中央公民館/白里公民館/中部コミュニティセンターを開講場所として趣味や興味を広げ、また新しい交流の輪を作るため町民の皆さんの生きがいづくりの場所やコミュニティーづくりの場所として開講しています。

主催講座は、料理、太極拳、茶道(表)、茶道(裏)、書道、水彩画、水墨画、詩吟、話し方、俳句、盆栽、着付、社交ダンス、手紙、絵手紙、押し花、カラオ

## 宮崎チャレンジキッズ ～子ども水の調査隊～

千葉市宮崎公民館 ☎043-263-5934



子どもたちに、家庭や学校では体験できないことを公民館で体験してもらうことを目的に、平成21年度から宮崎チャレンジキッズを実施しています。

民間事業者の社会貢献事業と連携し子どもに水の循環の仕組みや生活と水の関わり、水と環境など子どもの視点から学んでもらおうというものです。

公民館と民間事業者が連携して事業を計画、実施することで、互いに専門分野を発揮し、多くの情報ときめ細やかな対応で非常に充実した内容になりました。

通常の講座は、2名の職員で企画、実施、運営をすところ、民間事業者のスタッフ8名、気象予報士2名のサポート体制があり、連携のメリットは非常に大きいものがありました。

家庭で何気なく使っている水が、いかに大切なも

のであるか、家庭から出る汚水が、環境に与える影響など、実験や映像などをとおして学ぶことができました。

子どもの意識を変えることで、親への影響も期待できる内容であったと思います。

子どもたちの感想には、「一つ一つのことを大事にして、全員が協力して自然づくりをしていきたいです、水からおこる天気の変化もおもしろかったです。」「水は大切にしないといけないということがよくわかりました。」「水がいろいろなところを通過して、私たちのところに来ていることを知りました、いろいろな実験ができておもしろかったです。」などがありました。民間事業者の多くは社会貢献の窓口を持っています。大いに連携しましょう。



# 持ちより公民館だより

## 「Let's デイキャンプ!!」自然感じる!わくわくデイキャンプ

印西市立中央公民館 ☎0476-42-2911



「わくわくデイキャンプ」は、普段なかなか機会のない自然の醍醐味やデイキャンプの楽しさを味わってもらうとともに、市の中央公民館が所有している貸し出し用キャンプ用品の取り扱い講習を行い、キャンプ用品の利用促進を図るということをテーマに印西市6公民館共催事業として10月15日の土曜日に実施しました。

当日はあいにくの雨で当初予定していた屋外ではなく、公民館内で、キャンプテント(2タイプ)の組み立て、飯ごう炊飯(炊き込みご飯・とん汁)、レクリエーション「巨大しゃぼん玉」づくりを行いました。

参加された親子は、テントの設営や初めて触れる飯ごうでの調理など興味深く取り組んでいました。レクリエーションで行った巨大しゃぼん玉は直径1m近くにもなり、子どもはもちろん大人も時間を忘れ、夢中になって楽しんでいました。

また、本事業は、職員研修の場も兼ね、6公民館の職員が講師となって、キャンプ用品の取り扱い方法やレクリエーションの進め方など、互いのノウハウを学びあう機会とすることができました。今後もより質の高い事業を提供するため、このような機会を設けていきたいと考えています。

## 「伝統的な郷土料理体験!」太巻き寿司教室

一宮町中央公民館 ☎0475-42-4576



一宮町中央公民館から皆様に紹介する公民館主催事業は、「太巻き寿司教室」です。この教室は、毎年継続して開催しております。太巻き寿司は、千葉県の伝統的な郷土料理で、いろいろな絵柄を太巻き寿司に表現するものです。太巻き寿司のはじまりは、170~180年前といわれ、絵柄は100種類を超えます。

毎年、婦人会の会長渡邊年子さんに講師をお願いし、7月~8月に全3回実施しています。定員20名のところ、毎回、定員オーバーでお断りするほどの人気の講座です。今年度、渡邊先生から教わったのは、「チューリップ」「さざんか」「バラの花」「ひまわり」です。すべての太巻き寿司を実演していただきました。素晴らしい出来栄に、参加者一同から感嘆の声があがりました。参加者の皆さんの中には、悪戦苦闘していた方もおりましたが、講師のご指導を得て、仕上がりは見事なものになり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

今後は、一般だけの参加にとどまらず、世代間交流のイベントとして企画し、家族の「ふれあい」や「絆」を更に深める場とし、また郷土料理の技術の継承を図るうえからも、事業を拡大し開催していくように考えていきます。

# 公民館スタッフのつばやきコーナー

館

長

## 生涯学習の拠点となって

匠瑛市八日市場公民館 館長 今井 嘉則 さん



「匠瑛市」みなさん御存知でしょうか。2006年に県北東部にある旧八日市場市と旧匠瑛郡野栄町が合併して出来た市で、読めない、書けない、どこにあるかわからないなどということもあって、現在、御当地ヒーロー「ハリキリ戦隊ソウサマン」やアイドル「S☆cute」等により知名度アップを図っている「そうさし」です。白砂青松の海岸線と緑豊かな自然を有した人口約4万人の市です。

私が公民館長に着任したのが昨年4月、着任早々に待っていたのが主催事業である「生涯学習講座」の27教室と「寿大学生いきが講座」の11教室の開講でした。

私が最も苦手な挨拶が各教室の開講式の度にあるというので、憂鬱な気持ちの日が続いておりましたが、徐々に慣れきたのか、開講式では、少し気持ちにゆとりを持って挨拶ができたような気がしました。

この各講座から更にステップアップを目指す方々が立ち上げられた50団体程のサークル活動や、社会教育関係団体、社会福祉関係団体等数多くの団体に支援の一つとして、施設の貸し出しをしていることもあり、他の部署では考えられない程、多くの利用者とのコミュニケーションが得られ、地域に密着している施設であることを強く感じたところです。

今後、経費削減による指定管理者制度の導入などにより利用形態等を含め公民館を取り巻く環境は大きく変化をしていくものと思われませんが、生涯学習の拠点となって、今年度の経過を参考に各種講座の更なる充実を図るとともに、老若男女を問わず幅広い層の方々に、新しい学習の場として、また、出会いの場、交流の場として、気持ち良く利用していただけるよう心がけてまいります。



## 公民館の役割を担う市民会館で

職

員

富津市民会館 木村 忍 さん

富津市民会館（平成元年開設）は、平成13年度に市民部から教育部に所管が移り、市民会館の名称のまま公民館の役割を担うこととなり現在に至っています。

平成23年度には、市行政窓口である天羽行政センターが当館1階に移り、各種申請・証明等の交付利用や特定健診などの会場となり、地域の方の利用がこれまで以上に増えています。

私は平成19年度から富津市民会館に勤務しています。

主催教室では、「こどもチャレンジ教室」を担当し、中央公民館との合同で行う移動教室では子ども達の活発な行動力に振り回され、体力の衰えを実感することもしばしばあります。

また、史跡を巡る「歴史探訪講座」の参加者の中には、事前資料の下調べを行ない、当日は補足説明ができるほど熱心に勉強され、整理されたファイルを拝見するとそのまま教本として利用ができるほどの方もおります。

しかも、行程のほとんどが徒歩で、70才以上の方々が最後まで行動を共にし、途中では笑い声も聞こえ、学ぶことの楽しさを味わっているのかなと感じ、共に学ぶことの大切さや教室の必要性を改めて実感させられる思いです。

公民館としての実績は浅く、県内の各公民館と比較してもまだまだ未熟な活動内容で、地域に根差す拠点としても発展途上ですが、地域の方が少しでも来館したいと思う施設になればと思います。



平成24年度

(平成24年5月1日～平成25年5月1日)

自治公民館を含む  
すべての公民館活動を  
支援する制度です。

# 公民館総合補償制度

市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定められた「公民館の目的」に寄与するための施設等は、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された公民館もご加入いただけます。平成24年度は、行事傷害補償制度と職員災害補償制度の見舞金制度の一部について改定を行い、さらに安心、充実した制度となりました。

## 1. 行事傷害補償制度 [災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約付帯)+見舞金制度]

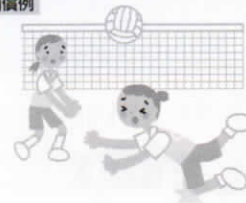
### 保険

- 公民館行事参加者のケガを補償します。
- 公民館利用者のケガを補償します。
- 行事の事前練習、準備中、後片付け、行事往復途上のケガを補償します。

### 見舞金制度 **改定**

- 急性疾病に死亡弔慰金、入院見舞金(1日目から)を支給します。
- 公民館建物災害(火災・地震・水災)に見舞金を支給します。

### 補償例



● バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

### 行事傷害補償制度のここがおすすめ

#### 手続きが簡単!

- 年1回の加入手続きで年間行事が対象になり、個別の行事予定の通知は不要です。

#### 補償範囲が広い!

- 日本国内であれば、行事の場所は問いません。  
※別に定める危険な運動中などは対象外です。
- 公民館が参加者を事前に名簿で把握している場合は、往復途上も補償します。
- 食中毒や熱中症も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

#### 対象者が広い!

- 行事参加者や公民館利用者の居住地は問いません。
- 公民館が公認するサークル活動の参加者も補償します。
- 有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 親が参加する行事に同伴した同居の未就学児も補償します。

#### 掛金の割引あり!

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入する場合には、掛金の割引制度があります。

## 2. 賠償責任補償制度 [賠償責任保険(施設所有管理者特約、昇降機特約付帯)]

### 保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、物を破損し、公民館が法律上の賠償責任を負担した場合に補償します。

注) 公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

### 補償例



● テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

## 3. 職員災害補償制度 [普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約付帯)+見舞金制度]

### 保険

- 公民館業務に携わる方の業務中のケガを補償します。

### 見舞金制度 **改定**

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに死亡弔慰金や入院見舞金(1日目から)を支給します。

### 補償例



● 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては「平成24年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き」をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー保険サービスまたは損保ジャパンまでお寄せください。

#### ■引受保険会社

株式会社 損害保険ジャパン

営業開発第一部第三課  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
TEL 03-3349-4037

#### ■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)

エコー保険サービス株式会社

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9  
TEL ☎ 0120-636-717  
FAX ☎ 0120-226-916

シリーズ・県内の

# 元気館

～船橋市の公民館発祥の地～

## 法典公民館

☎ 047-438-3203 (代)



完成予想図

文化祭やバザー等に利用できるエントランス  
広場もあります

人口 61 万人の船橋市には、26 館の公民館がおかれています。年間の公民館利用者は延べ 200 万人を超え、幅広い年代の多くの人々の集いの場となっています。今回取り上げる船橋市法典公民館は、昭和 24 年に誕生し、独立公民館としては船橋市内で最も歴史ある公民館です。

公民館の名称となっている「法典（ほうでん）」は、上山、藤原、丸山、馬込地域を合わせて法典地域と呼ばれていることによるものですが、現在、「法典」という地名はありません。この「法典」という地名の由来は諸説あって、上山、藤原にかつて小字法傳、上、中、下法傳という地名があり、これらの地名から法典となったという説や、その昔、この地域を日蓮上人が通った時に法を伝えたことから、法伝が法典となった説などがあります。しかし、正確な由来はわかっていません。

法典地域には、県下でも古い明治 6 年に開校した法典小学校や公民学校（青年学校）があったことなどから教育に関心の高い住民が多く、法典公民館も、特に青年層が中心となって起こした公民館設置の運動により誕生しました。このようなことから、現在でも地域との関係が非常に密接な公民館となっています。

この歴史ある法典公民館が、2012 年 5 月オープンの予定で建て替え工事が進められています。現在の法典



約 1 万冊蔵書予定の図書室

公民館は昭和 45 年に建築されたもので、築 40 年以上経過し老朽化が激しいこと、また、地域からの新館建設要望もあったことから、建設を進めてきたものです。新館は地上 2 階建て、延床面積は現在の建物の約 2 倍にあたる 1,495㎡で、施設内には新たに図書室や音楽室が設けられます。また、バリアフリー化はもちろん、昨年オープンした坪井公民館と同様に、太陽光発電システムを導入することで館内の電力の一部を賅えるようになり、自然エネルギーを利用した環境保護にも貢献していきます。



調理実習室では IH クッキングヒーターを導入

### 法典公民館長より

新法典公民館も完成間近となり、5月に予定している開館に向けて準備を進めています。新館の建設にあたっては、法典地区はコミュニティ活動が盛んな地区であることから、地域活動の拠点として皆様に親しまれる公民館をコンセプトに設計されました。

新館には市内の各図書館とネットワークし、図書館の本の予約・貸出・返却ができるような公民館図書室や、防音に配慮した音楽室が新たに設置されます。また、講堂も広くなり舞台が設けられたり、調理実習室の調理台数が増えたりと、広くて使いやすい公民館になりました。

これからも、公民館を地域の皆様に活用していただき、法典地域の「絆」がますます深まることを期待します。

ちばけん公民館  
スタッフニュース

編集：千葉県公民館連絡協議会 広報委員  
委員長：木村 忍(富津市民会館)  
編集者：鎌田晃治(勝浦市公民館)

発行：千葉県公民館連絡協議会  
印刷：株式会社 豊文堂